

海上の森の自然ノート

海上の森の動植物の
生き字引

山本 征弘

No.9

夏のチョウ

梅雨の頃から春のチョウに代り夏のチョウが出始めます。年一度しか発生しないものも多くこの時期を外すと来年まで見えません。暑さに負けないでぜひ探してください。



1 : オオムラサキ



2 : スミナガシ



3 : イチモンジチョウ

- ① **オオムラサキ**(タテハチョウ科)年一回7月下旬発生。日本の国蝶です。羽の表面は黒褐色で、オスの基部が青紫に輝く。近年海上の森で時々見かけるようになりました。エノキが食草です。
- ② **スミナガシ**(タケハチョウ科)年二回、5月上旬、8月上旬に発生。表は青緑色の光沢があり非常に綺麗。樹液などを吸うとき赤い口吻が目立つ。海上の森では少ない。アワブキなどが食草です。
- ③ **イチモンジチョウ**(タテハチョウ科)年三回、5月上旬、7月中旬、9月上旬に発生。表は黒色で和名のとおり中央に1本白色の帯が見られる。よく似たアサマイチモンジもいます。食草はスイカズラ。



4 : ミズイロオナガシジミ



5 : ウラナミアカシジミ



6 : アカシジミ

- ④ **ミズイロオナガシジミ**(シジミチョウ科)年1回6月上旬に発生。数が少なく、活動時間が早朝と夕方の二回で木の梢を飛ぶため発見しにくい。コナラ、アベマキなどが食草です。卵で越冬します。
- ⑤ **ウラナミアカシジミ**(シジミチョウ科)ミズイロオナガシジミ同様年1回発生します。羽の裏に綺麗な模様があるため人気があります。コナラ、アベマキなどが食草です。卵で越冬します。
- ⑥ **アカシジミ**(シジミチョウ科)アカシジミは④、⑤と共にゼフィルス(ラテン語で西風という意味)と呼ばれ特に注目され、多くのファンを持っています。他にゼフィルスはミドリシジミもいます。